

結婚される市民も賃貸住宅家賃助成の対象です

市が行っている若者移住定住促進家賃助成事業は、市外からの転入者のほか、結婚されて賃貸住宅に住まわれる市民も家賃助成の対象としています。

税などの滞納がなく夫婦どちらかが40歳未満の世帯が主な要件です。

このほか、市では結婚新生活支援事業など新婚世帯を応援しています。

詳しくはお問い合わせください。
【申請・問合先】若者移住定住促進家賃助成事業：建設課住宅係 ☎②3998 / 結婚新生活支援事業：政策推進課定住対策係 ☎②3182



三笠市職員人事異動

市では、5月1日付で人事異動を行いましたので、課長職以上についてお知らせします。

市長事務部局

●部長職

▼企画財政部長 小田 弘幸(企画財政部長兼企画財政部政策推進課長事務取扱)

●課長職

▼企画財政部政策推進課長 音羽 英明(教育委員会事務局学校教育課長兼給食センター所長)

教育委員会事務局

●課長職

▼学校教育課長兼給食センター所長兼高校生レストラン統括室長 阿部 文靖(高校生レストラン統括室長)

【問合先】総務課職員係 ☎②3184

三笠市職員募集

三笠市職員を募集します。

職種、募集人員、申込方法など、詳しくは市ホームページまたは直接お問い合わせください。

【第1次試験日】7月中旬

【試験会場】市民会館

【問合先】総務課職員係 ☎②3184

キツネにご注意ください

キツネは鳥獣保護法により、野生動物として保護の対象となっているため原則駆除はできません。

人から餌をもらったり、生ごみの味を覚えたキツネは何度も市街地に訪れるようになり、エキノコックス症を引き起こす原因となります。キツネが寄り付かないよう次のことにご協力ください。

▼残飯や生ごみ、犬や猫のエサを放置しない。

▼大きな音を立てて追い払う。

▼木酢液などキツネが嫌がるものをまく。

▼物置などは進入されないようにしつかりと戸締りを行う。

■エキノコックス症の予防法

キツネはエキノコックス症の原因となる寄生虫を保有していることがありますが、キツネを餌付けしたり、呼び寄せたり、手で触れることは絶対に行わないようにしましょう。

また、沢水や川などの生水は飲まないことや、野山の果物や山菜などを口にするときは、よく洗うか十分加熱してから食べるようにしましょう。

市では、エキノコックス症検診を行っています。詳しくは、ふれあい健康センター健康係 ☎③2010までご連絡ください。

【問合先】鳥獣保護法に基づく捕獲など：農林課農林係 ☎②3996 / 野生動物へ餌を与える方に関することや苦情など：市民生活課環境衛生係 ☎②3189



犬や猫の飼育マナーを守りましょう

犬について

▼犬を飼う場合は歩行者に接触しないようにし、リード(引き綱)の長さを2m以内にしてください。散歩のときも必ずリードを付け、ほかの歩行者に危害を加えないようにしましょう。

また、生後3カ月以上の犬は市役所で登録を行い、年に1回、

狂犬病予防注射を受けなければなりません。これらのことが守られない場合、罰金または料所に処置されることがあります。

▼散歩中のフンは袋を用意するなど、きちんと片付けてください。また、飼っている場所も清潔にしましょう。

猫について

▼外で飼っている猫が、知らないところでフンなどをして、他の方へ迷惑をかけている場合があります。また、新型コロナウイルスの感染の事例はありませんが、猫の感染が報告されています。猫は家中で飼うようにしましょう。

▼野良猫に餌を与えると、猫が住み着き個体数が増え、フンなどにより人に迷惑を掛けます。野良猫に餌を与えている方も飼い主と見なされ、その責任を問われる場合がありますので、野良猫には絶対に餌を与えないでください。

【問合先】市民生活課環境衛生係 ☎②3189





ヒグマのフンを発見したときは、その場を離れましょう

山林に立ち入るときには、ヒグマに遭遇しないよう気を付けなければなりません。

フンを発見したときには近くにいた可能性が高まりますので、その場から離れてください。ヒグマやタヌキなどのフンの見分け方は次のとおりです。

【ヒグマ】大きさは5cm以上です。

【タヌキ】大きさは2cmから3cm程度のものが多いですが、1カ所に何頭かでフンをする習性があり、見た目の大きさは5cm以上になる場合もあります。

【キツネとアライグマ】イヌのフンに似ているのが特徴です。大きさは2cmから3cm程度のものが多いです。

※5cm以上あるフンは「ヒグマ」か「タヌキ」で、形状が2cmから3cmのフンが集まったものであれば、タヌキと考えられます。

※入林する場合は必ず許可を受け、火の取り扱いには十分注意しましょう。

フンの形



【問合せ】農林課農林係 ☎②3996

ニュースみかさ

ホットな情報 お届けします

NEWS MIKASA

電源開発株式会社桂沢電力所から N95マスクの贈呈

4月23日

【問合せ】市立病院総務管理係 ☎②3131

電源開発株式会社桂沢電力所から市立病院へ、N95マスクの贈呈をいただきました。

N95マスクは、米国防務省衛生研究所の規格に合格したもので、厚生労働省では、SARS、MERS 新型インフルエンザや結核菌の対策指定品の一つとしており、ウイルスを含んだ飛沫の侵入を防ぐことができる高性能なマスクです。医療施設などの業務では感染の可能性を最小限に抑えるために必要とされていますが、現在は人手しづらい状況となっています。

市立病院では、貴重なマスクを有効に活用し、今後も感染予防に最大の注意をはらい、医療提供に支障が生じないように努めていきます。



市内児童へ社会福祉協議会の ボランティアからマスクの贈呈

4月17日

【問合せ】福祉事務所子ども子育て支援係 ☎②3995

社会福祉協議会で、新型コロナウイルス感染症の予防としてマスクが不足していることから、社会福祉協議会ボランティアの皆さんが認定こども園三笠まつばの杜や三葉保育所の児童のためにマスクを作製し、代表して三笠まつばの杜の松田園長に手渡されました。

贈呈されたマスクは、市民の方から材料となるさらしなどを提供いただき、社会福祉協議会のボランティアの皆さんが丹精を込めて作製されました。

このマスクは三笠まつばの杜と三葉保育所の3歳以上の児童に贈られました。

